



月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で jimou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

## 人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿下さい。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

### 国立天文台研究員（一般枠）募集

国立天文台では、研究員を募集します。若手研究者に自主的な研究の場を提供し、多くの研究成果を上げることを通じて研究者としての基盤を確立することを主たる目的としています。台内のプロジェクトからの申請（プロジェクト枠：以下参照）は別にありますが、それ以外には研究員募集は本件しかありません。

1. 若干名
5. (1) 平成 18 年 4 月 1 日以降  
(2) 最大 3 年（年度末の評価の上再任）
6. 博士の学位を取得又は平成 18 年 3 月 31 日（10 月取得の者はその旨記載のこと）までに取得見込み
7. (1) 履歴書、(2) 研究歴、(3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別）、(4) 主要論文のコピー、(5) 研究計画書（希望の分野・勤務地を明記のこと。併願の場合はそれぞれの計画書）、(6) 推薦書（ある場合は添付）、（書類はお返しできませんので別刷等はコピーで結構です）
8. 平成 18 年 1 月 10 日（火）17 時まで必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台長 海部宣男  
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台副台長 観山正見  
Tel: 0422-34-3738  
e-mail: miyama@th.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「天文台研究員応募書類在中」（〇〇分

野）と朱記し、郵送の場合は簡易書留で送付すること。分野は例えば、光赤外分野、電波分野、理論分野、太陽分野、その他、VLBI 分野、惑星科学分野など各自で適当な分野を指定下さい。複数指定することも可能です。

11. 新たな研究員は、助手の時間単価（期末手当等を含む）で週 30 時間の給与及び交通費が支給されます。また、勤務時間の半分までは、所属する分野の所属長と相談の上で国立天文台の業務を行ってもらう義務があります。

### 国立天文台研究員（プロジェクト枠）募集

プロジェクトごとの研究員募集のお知らせです。

6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締め切りは、上記の一般枠のものと同じです。

プロジェクト枠の場合、応募者はプロジェクトリーダーにまず申請します。その後、リーダーは申請者と仕事の内容等を協議をした上で、国立天文台長に提案することになります。従って、申請後、リーダーからの連絡等がある予定です。

#### A. ハワイ観測所プロジェクト研究員募集

1. 若干名
2. (2) 東京都三鷹市
4. ハワイ観測所プロジェクトでは、ハワイ観測所と三鷹すばる室が一体となってすばる望遠鏡による共同利用を推進し、また将来へ向けての開発を進めています。本プロジェクトでは、三鷹すばる室の共同利用業務や開発を推進する研究員を募集します。その主な業務は以下のとおりです。
  - (1) 三鷹すばるの計算機運用と環境向上の支援
  - (2) すばるのデータ整約解析及びデータ公開の支援
  - (3) 三鷹すばるの遠隔観測の支援
5. (1) 平成 18 年 4 月 1 日以降  
(2) 最大 3 年（年度末の評価の上再任）
9. (1), (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台すばる室 野口邦男  
Tel: 0422-34-3519

e-mail: knoguchi@optik.mtk.nao.ac.jp

10. 封筒の表に「ハワイ観測所プロジェクト研究員応募書類在中」と朱記すること。郵送の場合は簡易書留で送付すること。
11. (1) 国立天文台研究員給与（助手相当の時間給、週30時間以内）が支給され、交通費も支給されます。
- (2) 勤務時間のおよそ半分はプロジェクトの業務を行う義務を負います。
- (3) 職務は、4.の項目の中から担当する。特に希望があれば研究計画の中で記述すること。また過去に4.の業務に類似の経験がある場合は、研究歴の最後に付記すること。

## B. ELT プロジェクト室研究員公募

1. 1名
2. (2) 東京都三鷹市
4. **Duty (50%)**として、ELT（次世代超大型光赤外線遠鏡）計画の基本検討、基礎開発、内外研究者との連携活動を分担してもらいます（ELT構想と本年度の事業計画については、ホームページ (<http://optik2.mtk.nao.ac.jp/~iye/eltproj.html>) 等参照のこと）。残りの50%で、自分自身の研究を行うことが可能です。
5. (1) 平成18年4月1日以降  
(2) 最大2年（年度末の評価の上再任）
9. (1), (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台 ELT プロジェクト室 家 正則  
e-mail: iye@optik.mtk.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「ELT プロジェクト室研究員応募書類在中」と朱記すること。郵送の場合は簡易書留で送付すること。
11. 国立天文台研究員（一般枠）募集の11.に同じ。

## C. 太陽系外惑星探査プロジェクト室研究員募集

1. 若干名
2. (2) 東京都三鷹市大沢（但し、ハワイに頻繁に出張する可能性があります。）
4. 太陽系外惑星探査プロジェクト室  
太陽系外惑星検出、とりわけ、地上・スペースにおける直接観測のための装置やミッション及びそれによるサイエンスの検討などに参加する若手研究者を期待しています。本プロジェクト室の現在の具体的な検討テーマは、(1) ずばる望遠鏡用次期高コントラスト観測装置、(2) 次期赤外線衛星 SPICA のためのコロナグラフ、(3) 地球型系外惑星検出ミッション及び観測装置、の開発研究です。

5. (1) 平成18年4月1日以降  
(2) 最大3年（年度末の評価の上再任）
9. (1), (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台太陽系外惑星探査プロジェクト室 室長 田村元秀  
Tel: 0422-34-3513 or 3516  
e-mail: hide@optik.mtk.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「太陽系外惑星探査プロジェクト室研究員応募書類在中」と朱記すること。郵送の場合は簡易書留で送付すること。
11. 国立天文台研究員（一般枠）募集の11.に同じ。

## D. 野辺山宇宙電波観測所（ASTEを含む）研究員募集

1. 若干名
2. (2) 長野県南佐久郡南牧村野辺山、ASTE の場合は東京都三鷹市の場合もあり、チリへの長期出張の可能性もある。
4. 野辺山宇宙電波観測所（ASTEを含む）  
野辺山宇宙電波観測所：45m 電波望遠鏡、ミリ波干渉計、ASTE（アタカマ・サブミリ波望遠鏡実験）の技術開発、観測運用または関連装置開発などを行いながら、観測的または開発的研究を推進する若手研究者。勤務時間のおよそ半分は観測運用などの業務を行う義務を負う。
5. (1) 平成18年4月1日以降  
(2) 最大3年（年度末の評価の上再任）
9. (1), (2) 〒1384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山 野辺山宇宙電波観測所 所長 坪井昌人  
e-mail: tsuboi@nro.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「野辺山宇宙電波観測所プロジェクト研究員応募書類在中」と朱記すること。郵送の場合は簡易書留で送付すること。
11. 国立天文台研究員（一般枠）募集の11.に同じ。

## E. ALMA プロジェクト室研究員募集

1. 若干名
2. (2) 東京都三鷹市（但し、欧州、北米、チリに長期出張の可能性あります。）
4. ALMA 推進室または先端技術センター ALMA プロジェクト  
日米欧が協力してチリに建設する ALMA（アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計）の装置開発（観測法や関連ソフトを含む）、装置のインテグレーションや試験、立上時のサイエンスの検討などに参加する若手研究者を求めます。勤務時間のおよそ半分は開発やプロジェクト推進などの業務を行う義務を

負っていただきます。

5. (1) 平成 18 年 4 月 1 日以降  
(2) 最大 3 年（年度末の評価の上再任）
9. (1), (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台 ALMA 推進室 室長 石黒正人  
Tel: 0422-34-3765  
e-mail: ishiguro@nro.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「ALMA プロジェクト枠研究員応募書類在中」と朱記すること。郵送の場合は簡易書留で送付すること。
11. 国立天文台研究員（一般枠）募集の 11. に同じ。

#### F. 先端技術センター研究員募集

1. 1 名
2. (2) 東京都三鷹市
4. テラヘルツ技術の開発  
国立天文台先端技術センターでは、テラヘルツ周波数領域における天文観測基礎技術の開発を進めています。SIS フォトン検出器などの超伝導直接検出器あるいは極低温読み出し回路技術などの開発を進める若手研究者を求めます。勤務時間のおよそ半分は開発プロジェクトの業務を義務としますが、観測的研究についても積極的に進めていただくことを期待します。
5. (1) 平成 18 年 4 月 1 日以降  
(2) 最大 3 年（年度末の評価の上再任）
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台先端技術センター長 常田佐久  
(2) 国立天文台先端技術センター 松尾 宏  
Tel: 0422-34-3915  
e-mail: h.matsuo@nao.ac.jp
10. 封筒の表に「先端技術センタープロジェクト研究員応募書類在中」と朱記すること。郵送の場合は簡易書留で送付すること。
11. 国立天文台研究員（一般枠）募集の 11. に同じ。

#### G. VERA 観測所研究員募集

1. 若干名（1 ないし 2 名）
2. (2) 東京都三鷹市又は岩手県水沢市
4. VERA 観測所  
VERA 観測所では、2000 年度より日本国内 4 カ所に口径 20 m の電波望遠鏡を設置して、高精度位置天文観測を行い、銀河系全域のメーザー天体について年周視差により距離の精密計測を行い、銀河系の構造や運動を明らかにすべくプロジェクトを推進しています。現在、観測装置の建設および性能評価は完了しており、今後システムとしての精度評価および

び観測方法の検討を行いデータ解析ソフトウェアや観測を効率的に進めるためのスケジュールソフトウェアなどの開発に参加する若手研究者を求めます。

5. (1) 平成 18 年 4 月 1 日以降  
(2) 最大 3 年（年度末の評価の上再任）
9. (1), (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
VERA 観測所長 小林秀行  
Tel: 0422-34-3914  
e-mail: hideyuki.kobayashi@nao.ac.jp
10. 封筒の表に「VERA 観測所プロジェクト研究員応募書類在中」と朱記すること。郵送の場合は簡易書留で送付すること。
11. 国立天文台研究員（一般枠）募集の 11. に同じ。

#### H. Solar-B 推進室研究員募集

1. 1 名
2. (2) 東京都三鷹市
4. Solar-B 推進室  
Solar-B 推進室では、太陽観測衛星 Solar-B の打ち上げ観測開始に向けて、衛星の科学的運用及びデータ解析を中心となって推進する研究員を求めます。
5. (1) 平成 18 年 4 月 1 日以降  
(2) 最大 3 年（年度末の評価の上再任）
9. (1), (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
Solar-B 推進室長 常田佐久  
Tel: 0422-34-3720
10. 封筒の表に「Solar-B 推進室プロジェクト研究員応募書類在中」と朱記すること。郵送の場合は簡易書留で送付すること。
11. 国立天文台研究員（一般枠）募集の 11. に同じ。

### 研究助成

#### (財)天文学振興財団

#### 平成 18 年度研究助成等公募

当財団では、国立天文台の事業支援等を通じて天文学の振興を図っております。

詳細は、「天文月報」平成 18 年 5 月号（2006 年 5 号）並びに当財団ホームページ又は、財団事務室へ電話でお問い合わせ下さい。

平成 17 年 11 月 25 日

(財)天文学振興財団 理事長 小平桂一

#### 1. 公募種目

##### (1) 研究助成

- a. 対象：天文学に関する優れた研究活動を行おうとする個人又は団体の代表者、原則

として 35 歳以下

- b. 助成：1 件 100 万円以下。平成 17 年度は該当者なし

(2) 国際交流に対する助成

- a. 対象：天文学に関する海外での国際交流活動（1 カ月以内）に平成 18 年 4 月以降参加する研究者

- b. 助成：派遣に要する往復航空賃及び滞在費の一部。平成 16 年度の助成件数は 3 件（平均 22 万円）。

(3) 国際研究会参加に対する助成

- a. 対象：平成 18 年 4 月以降に海外で開催される天文学に関する国際研究会（10 日以内）に参加、発表する研究者

- b. 助成：派遣に要する往復航空賃。平成 16 年度の助成件数は 7 件（平均約 15 万円）

(4) 国際研究会開催に対する助成

- a. 対象：平成 18 年 4 月以降に国内で天文学に関する国際研究会を開催する研究者グループ。

- b. 助成：1 件 100 万円以下。平成 17 年度の助成件数は 4 件（平均約 38 万円）

2. 申込期限：

- (1) は平成 18 年 1 月末日  
(2), (3) は毎年 5 月末日, 9 月末日, 翌年 1 月末日の計 3 回  
(4) は第 1 回が 5 月末日（対象期間が 7 月以降の開催）

第 2 回が 9 月末日（対象期間が 11 月以降～翌年度 6 月末の開催）

3. 選考結果：選考委員会で審査の上、採択の可否については、各申込期限の約 1 カ月後に文書で通知します。

4. 報告：研究助成は、年度末、それ以外の助成は、帰国後及び開催後 1 カ月以内に報告書を提出して頂きます。

5. 申請：申請書は事務室あてに請求して下さい。

6. 問合せ先：(財)天文学振興財団 事務室

〒181-8588 東京都三鷹市大沢  
2-21-1 国立天文台内  
Tel: 0422-34-8801  
Fax: 0422-34-4053

平成 18 年

三菱財団自然科学研究助成応募要領

1. 助成の趣旨

近年の自然科学の進歩はめざましく、各学問分野の研究の深化はもとより、分野間の相互作用によりつぎ

つぎに新たな研究領域が誕生しつつあります。このような状況のもとで本事業は、これらの科学・技術の基礎となる独創的、かつ先駆的研究とともに、既成の分野にとらわれず、すぐれた着想で新しい領域を開拓する萌芽的研究に期待して助成を行います。

自然科学のすべての分野にかかわる、すぐれて独創的な研究を助成の対象と致します。さらに複数の分野にまたがる新しい現象を模索する実験・理論や、環境問題の基礎的研究も対象と致します。なお、この助成金は研究達成のため十分に活用できるよう、その使途をとくに制限致しません。

2. 助成の概要

(1) 助成金額

総額 3 億円を予定。1 件当たり 2 千万円以内とし、採択予定件数は 40 件程度を目処といたします。なお研究の性質上比較的少額で足りる内容のものも十分考慮されます。

(2) 助成金使途

上記助成趣旨に記載のとおり、制限はありません。通常の設備費、消耗品費、旅費等はもちろん、研究上とくに必要な場合は、研究補助者への謝金等も可（ただし当該代表研究者がこれらすべての運用責任を持つ）とされます。

3. 応募方法

(1) 「助成申込書」の作成

“申込書の内容・書式”は、当財団インターネットホームページ上にて“財団概要”、“助成応募要領”等共々、これをご参照下さい。

URL: <http://www.mitsubishi-zaidan.or.jp>

4. 応募資格・助成期間・選考方法・結果通知等々については上記ホームページを参照下さい。

財団法人 三菱財団事務局

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-5-2  
(三菱ビル 15 階)

Tel: 03-3214-5754

Fax: 03-3215-7168

〈応募期間〉

平成 18 年 1 月 6 日(金)～平成 18 年 2 月 3 日(金)  
(期限内に必着のこと)

第 47 回藤原賞受賞候補者推薦のお願い

(財)藤原科学財団よりの依頼がありましたので、お知らせ致します。

藤原賞は(賞状、賞牌および副賞)2 件とし、副賞として各 1 千万円を贈呈しております。

1. 推薦の対象は、自然科学分野に属するものとし、す。

2. 受賞候補者は、日本に国籍があり、且つ日本在住の方であれば、ほかに賞を受けられた方でも、また以前に推薦された方でも結構です。
3. 受賞候補者は原則として受賞対象題目 1 件につき 1 人とします。
4. 推薦要項は日本天文学会事務所にあります。
5. 受賞者の決定は 2006 年 5 月中旬とし、贈呈式は同年 6 月中旬に行います。
6. 推薦要項書提出締切日 2006 年 1 月 31 日(火)
7. 推薦要項書送り先  
〒104-0061 東京都中央区銀座 3-7-12 (王子不動産銀座ビル) 財団法人 藤原科学財団  
Tel: 03-3561-7736 Fax: 03-3561-7860
8. 藤原科学財団ホームページ <http://www.fujizai.or.jp> のホームページ上にも募集要項が PDF にて掲載されています。

## IUPAP YOUNG SCIENTIST'S PRIZE IN ASTROPHYSICS

### IUPAP 宇宙物理若手研究者賞

国際純粋・応用物理学連合宇宙物理学委員会 (IUPAP Commission 19: Astrophysics) は優れた若手研究者に与える賞を設けました。候補者の条件、推薦の方法等に関する詳細は以下の英語の文章をご参照ください。

The Commission on Astrophysics of the International Union of Pure and Applied Physics expects to present a prize to an outstanding young astrophysicist in December, 2006 at the 23rd Texas Symposium on Relativistic Astrophysics in Melbourne, Australia. Candidates for the prize must not have completed more than 8 years of post-PhD research and related activities at the time the prize is awarded. The prize will consist of a IUPAP Medal, travel expenses to the meeting where the prize is presented, and possibly a small cash award. The winner will probably be asked to give a short talk about the work for which the prize is awarded.

Nominations can come from any astrophysicist who knows the nominee's work well. A nomination should consist of a letter explaining the nominee's qualifications, a complete CV and list of publications, and two letters of support, at least one of which must come from someone who is not at the nominee's institution, is not a past mentor, and is not a frequent co-author or other close collaborator. Materials must arrive by 1 June 2006 for full consideration. Nominations should be sent to the chair and the secretary of the Commission and to the

chair of the selection committee:

Commission Chair:

Alexei M. Fridman (Inst. of Astronomy, Pyatnitskaya Ul. 48,109017 Moscow, Russia. [flexa@online.ru](mailto:flexa@online.ru))

Commission Secretary:

Patricia A. Whitelock (SAAO, PO Box 9, 7935 Observatory, South Africa, [paw@sao.ac.za](mailto:paw@sao.ac.za))

Selection Committee Chair:

Virginia Trimble (Physics Dept, Univ of California, Irvine CA 92697 USA, [vtrimble@uci.edu](mailto:vtrimble@uci.edu))

### 研究会・集案案内

#### 「銀河学校 2006 生徒募集」

東京大学天文学教育研究センター木曾観測所では、天文学をはじめとする自然科学に興味をもっている高校生を対象とした天文学実習、『銀河学校 2006』\* を開催します。105 cm 望遠鏡をつかって天体を観測し、授業や講義内容をもとに、結果を解析、考察、そして発表することで、天文学研究の入り口が体験できます。高校生のみなさんの参加をお待ちしております。

- 日時: 2006 年 3 月 21 日(火)~24 日(3泊4日)
- 場所: 長野県木曾郡木曾町三岳 10762-30  
東京大学木曾観測所
- 実習内容: 105 cm シュミット望遠鏡をつかった観測と研究
- 対象: 高校生 30 名程度(新高校生をふくむ)
- 参加費用: 6,000 円(食事代, 傷害保険料をふくむ)
- 応募方法: 「私が天文学者になって研究してみたいこと」をテーマとした 800 字程度の作文と、住所、氏名、生年月日、性別、電話番号、学校名、学年を明記したものを下記まで郵送。
- 応募しめきり: 2006 年 2 月 17 日(金) 必着
- あて先: 〒397-0101 長野県木曾郡木曾町三岳 10762-30  
東京大学木曾観測所銀河学校係
- 問い合わせ: 東京大学木曾観測所  
Tel: 0264-52-3360  
ホームページ: <http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp/OUTREACH/GS>

\*応募者多数の場合は、作文による選考をおこないます。結果は、3月6日(月)までに、応募者全員に通知します。

\*『銀河学校 2006』は、「子どもゆめ基金」の助成と

「NPO サイエンスステーション」の協力を受けて開催されます。

## 天文学講演会 南天に広がれ宇宙ロマン 12

21世紀に入って、宇宙観測はさらに加速度的に前進しています。赤外線衛星スピッツァー、エックス線衛星すざくをはじめとする新鋭の観測器が成果をあげつつあります。名古屋大学のサブミリ波望遠鏡も、9月10日に待望のファーストウェーブ観測に成功し、順調に本観測へ向けて前進しています。今年、名古屋大学で電波による宇宙観測が始まって25年の節目でもあります。ブラックホールがある銀河系中心部の最新研究成果を含めて、最新の宇宙像とこれからの展望をお伝えします。

入場無料

2005年12月23日(金、祝日)

12:00 開場 13:30~17:00

名古屋大学 IB 電子情報館・大講義室

定員 350名 当日先着順

講演

「ロゴデザインのプロセス—なんてん天文台、セントレアほか」 小川明生 TMC

「最新の宇宙像—ブラックホールから銀河形成まで—」 福井康雄

NANTEN Submillimeter Observatory

主催：名古屋大学大学院 なんてんサブミリ波天文台

後援：名古屋大学 21世紀 COE プログラム「宇宙と物質の起源：宇宙史の物理学的解読」

名古屋大学星の会

### 共同研究・共同利用

## X線天文衛星「すざく」によるX線観測 第1期公募案内 (AO-1)

宇宙航空研究開発機構はX線天文衛星「すざく」を2005年7月10日に無事に打ち上げました。この衛星計画の推進にあたり、天文学会をはじめとする関係者の皆様のご協力を頂いたことに深く御礼申し上げます。打上げ後、観測機器の立ち上げの中で、高分解能X線分光器(XRS)については、これまでで最高の分光分解能を持つことが実証されましたが、その直後に冷却用ヘリウムが失われ、残念ながら観測不能に陥りました。日米双方に調査委員会が作られ、現在、原因究明が進められております。残る4台のX線CCDカメラ(XIS)と1台の硬X線検出器(HXD)は順調に立ち上がり、また、X線望遠鏡の結像性能も確認され、

観測装置の較正と性能を実証するための試験観測が行われてきました。その結果、(1)硬X線領域(10-300 keV)において、これまでで最高の感度を持つこと、(2)軟X線領域(0.3-1 keV)において、これまでのCCDカメラに比べて高い感度と分解能を持つことが実証されました。すなわち、「すざく」が予定どおり広帯域にわたって高感度かつ優れたX線分光性能を持つことが確認できました。

「すざく」打上げ前の2004年に公募した観測提案はX線分光器(XRS)による観測を中心として審査・採択されたものであるため、観測戦略の見直しが必要となっております。このため、前回採用された提案は全てキャンセルさせていただき、新たに観測公募を行うこととしました。今回の公募は2006年(平成18年)4月より1年間の観測を対象とします。上に述べました様に、CCDカメラ(XIS)と硬X線検出器(HXD)を活かした提案をお願い致します。応募締切は、2006年1月7日(土)正午(日本時間)です。

すざく衛星、および、公募の詳細については、以下のweb pageをご覧ください。

<http://www.astro.isas.jaxa.jp/suzaku/>

広い分野の研究者の皆様の応募をお待ちしております。

### その他

## 新IAU会員の募集

新たに国際天文学連合(IAU)の会員になることを希望される日本人を募集しています。IAU会員になることは国際的に天文学者として認められることを意味します。会費は無料で、所属するIAUの各委員会での議決権を持つこととなります。

今回応募される方については、平成18年2月に審査を行い、学術会議会員より同年8月のIAU総会に新会員候補として推薦いたします。推薦された新会員候補はIAUの指名委員会での審査を経て、総会での議決により新会員となることが認められます。

会員の資格は、原則として、博士の学位取得後数年の研究歴(具体的には天文学関連の学術雑誌に2~3編以上、研究論文を発表していることが必要)を有する研究者です。詳しくは以下のホーム・ページをご覧ください。

<http://www.iau.org/Organization/member/applic.html>

新会員資格の申請を希望される方は、平成18年1月末日までに以下のホーム・ページから申請用紙を入

手し、必要事項を記入の上、メールの添付文書もしくは郵送または FAX にて、下記提出先までお送り下さい。

<http://chiron.mtk.nao.ac.jp/~toshio/>

申請用紙は両面ありますが、裏面は所属を希望する委員会の一覧表ですので、表面だけ印刷していただいでご記入下さい。なお、申請用紙(表面)の一番下に、推薦人が記入すべき部分 (proposed by とか date や signature の欄) がありますが、ここは、学会議会員が推薦人として署名される部分ですので、空欄のままにして下さい。

また、現在 IAU 会員の方で退会を希望される場合は、退会届を下記提出先にお届け下さい。退会届の書式は特にありません。日本語の簡単なもので結構ですので、自筆で捺印もしくはサインの上、お送り下さい。

〈IAU 新会員の申請提出要領〉

締切: 平成 18 年 1 月 31 日

提出先: 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台天文情報センター

前天文研連幹事 福島登志夫あて

e-mail: Toshio.Fukushima@nao.ac.jp

Fax: 0422-34-3810

(重要: メール, 郵送, FAX のいずれでも受け付けます)

問合せ先: Tel: 0422-34-3613

## 第 47 回科学技術映像祭参加作品募集

科学技術に関する優れた映像作品を募集。部門は「科学教育」「基礎研究」「科学技術」「医学」「ポピュラーサイエンス」。参加資格は日本所在の製作者、企画者(スポンサー)、テレビ局、学術研究機関、及び個人が製作した作品で、2005年2月1日～2006年1月31日までに完成または放映したもの。応募締切 2006年1月31日。

3月中旬に内閣総理大臣賞 1 作品、文部科学大臣賞 14 作品を発表

- 問合せ先: 科学技術映像祭事務局 (日本科学技術振興財団内)

Tel: 03-3212-8487

Fax: 03-3212-0014

URL: <http://ppd.jsf.or.jp/filmfest>

## 会務案内

### 2006 年度内地留学奨学金支給者の決定について (報告)

内地留学奨学金選考委員会 委員長 西村昌能

天文月報 2005 年 7 月号で表記の奨学金について募集しましたところ 3 名の応募がありました。選考委員会で研究計画、奨学金の用途につきまして詳細に吟味、検討した結果、下記の 2 名の方を奨学金支給者に決定しましたので、ご報告いたします。

記

- 1) 氏名: 橋本末緒  
所属: 星の文化館 (福岡県)  
研究題目:  
「高分散分光観測による彗星の炭素同位体比の決定」  
受入機関及び指導教官:  
京都産業大学 河北秀世  
支給金額: 12 万円
- 2) 氏名: 井内麻友美  
所属: 葛飾区郷土と天文の博物館  
研究題目:  
「彗星コマ中に観測されるナトリウム原子の放出量の日心距離変化とその彗星ごとの相違について」  
受入機関及び指導教官:  
自然科学研究機構 国立天文台 渡部潤一  
支給金額: 12 万円

## 訂正

天文月報 2005 年 12 月 (第 98 巻 12 号) 年会の 831 ページに誤りがありました。お詫びして訂正致します。

誤) 特別セッションの企画 2006 年 12 月 1 日 (木) まで。

ジュニアセッション講演申込 2006 年 12 月 20 日 (火) まで。

正) 特別セッションの企画 2005 年 12 月 1 日 (木) まで。

ジュニアセッション講演申込 2005 年 12 月 20 日 (火) まで。

## 編集後記

背表紙がついた月報が1年分本棚に並びました。厚さが月によって違いますが、1年間の総ページ数が858と過去最高です。原稿を書いていただいた皆さんに感謝いたします。月報のPDF化もおかげさまで進んでいます。今年は明治時代の創刊号から約10年分もPDF化する予定です。お楽しみに。

(和田桂一 メリーランド州ボルチモア)

この一年、新人編集者として、すばる望遠鏡による成果の記事、共同研究者、京都大学時代の同僚、海外で活躍中の知り合いの日本人研究者の記事を、かなり載せることができました。ただ、ねたが切れかかって来ましたので、皆さんの積極的な投稿を期待します。

(今西昌俊 マウナケア山頂にて)

1997年2月12日に打ち上がって以来8年以上経つ電波天文衛星「はるか」が、11月30日ついに運用終了となりました。スペースVLBIを実現し、キューサーや電波銀河の中心部を0.3ミリ秒角という高解像度で撮像してきた衛星です。計画主任の廣澤先生によって「TMS OFF」の最終指令が打たれ、「はるか」が永遠に沈黙したときは、感慨深かったです。これまで宇宙の極微を見せてくれてありがとうございます！

(亀野誠二 国立天文台)

この夏7月10日には、X線観測衛星「すざく」が打ち上がったばかりです。私も、衛星に搭載した検出器のメンバーとして、打ち上げ前後の3ヶ月以上の間、九州内之浦の発射場に滞在し、実際に打ち上げにも立ち会いました。不幸にも、分光器の一台が故障する事故にもありましたが、「すざく」はまだまだ健在で元気に観測を続けております。科学的な成果も着々と出ております。偉大な衛星の大先輩である「はるか」「ようこう」にならって、「すざく」も良い成果を出し続けていきたいですね。さらに、2006年には、赤外線衛星「Astro-F」や太陽観測衛星「Solar-B」の打ち上げが予定されており、ひじょうに楽しみです。これからも、天文月報の読者の皆様に、最新の衛星観測の成果などを分かりやすく読んでいただけるよう、編集委員としてもがんばっていききたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。(寺田幸功 理化学研究所)

月報の表紙はこの1号からまたデザイン一新ですが、いかがでしょうか？ 昨年は、私自身も職場を変え新しい生活を始めてリフレッシュしました。早いもので編集委員2期目も半分を過ぎ、残り1年となりましたが、また新たな気持ちで、楽しい月報づくりを目指していきたいと思います。

(濤崎智佳 国立天文台野辺山観測所)

最近、9月4日に発生したガンマ線バーストに振り回されていました。このバーストは、赤方変移がこれまでで最大で $z=6.3$ 、宇宙誕生後わずか9億年で起きた大質量星の爆発と確認されたもので、この最終確認ではすばるの分光データが決定的に重要な役割を果たしました。このようなガンマ線バーストは、宇宙の再電離など、宇宙初期を探る宇宙論のプロブとして期待されています。この数カ月間、必死にこの素晴らしいデータの理論解析を行ってきました。まずは観測データ論文、つづいて、宇宙論的示唆をまとめた解釈論文が準備されています。乞うご期待です。

(戸谷友則 京都大学宇宙物理学教室)

先日、北京に出張する機会がありました。その発展ぶりにはめざましいものがありました。環境問題にも配慮しつつ、持続的な発展を続けてもらいたいものです。アジアの時代が近いことを実感した旅でした。

(洞口俊博 国立科学博物館)

編集委員になってもう3年になりますが、今年は何度かTV会議システムを使って、三鷹で行われる編集会議に参加しました。海外の望遠鏡も自分のオフィスから操作できる時代になりましたし、インターネットの発達、研究生活にもずいぶん変化をもたらしたように思います。が、逆に、実際に会って話をすることの重要性も再認識させられます。月報が読者の皆さんのコミュニケーションの材料の一つになれば幸いです。

(増田 智 名古屋大学太陽地球環境研究所)

編集委員になり、はや1年がたちました。いまだに慣れず、他の編集員の方の足を引っ張りまわっていますが、身についた事といえば、文章を読む際、てにをは、句読点など、「木を見て森を見ず」的な読み方になってしまった事です。今後よろしくお願ひいたします。(矢野太平 国立天文台)

和田桂一(編集長)、今西昌俊、亀野誠二、齋藤正雄、寺田幸功、濤崎智佳、戸谷友則、洞口俊博、増田 智、矢野太平  
 平成17年12月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会  
 印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社  
 定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会  
 Tel: 0422-31-1359 (事務所)/0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595  
 日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)

©社団法人日本天文学会 2005年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)